

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	山辺里デイサービスセンター	評価対象年度	令和 3 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝さくみ

①事業実績

利用実績	定員28人/日(月～土:30人・日:16人)をR3.12月～31.2人/日(月～土:33人・日:20人)とし、365日開所。延べ利用人数 8,212人(前年比692人増)
サービス向上の取り組み	通年開所しており、瀬波デイサービスセンターの今年度末での廃止に伴い、R3.12月から定員を増やし、利用時間の延長等にも対応するなど利用者の確保に努めた。また、重度要介護者の受入体制をとっているが、軽度者の割合が多くなっている。そのような中で、看護職員を増員し、機能訓練等の充実を図った。

②管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (元年度)	前年度 (2年度)	当該年度 (3年度)	合計	備考
収入	指定管理料					基本協定額: 一円
	利用料金	11,079	10,641	11,294	33,014	
	自主事業収入	76	29	15	120	
	その他	60,490	61,249	61,838	183,577	
	計	71,645	71,919	73,147	216,711	
支出	管理経費	72,457	72,262	75,946	220,665	
	(うち人件費)	57,519	57,559	60,562	175,640	
	(うち光熱水費)	4,654	4,828	5,203	14,685	
	(うち修繕費)	567	771	301	1,639	
	(うち委託料)	588	635	978	2,201	
	自主事業費	76	29	15	120	
	計	72,533	72,291	75,961	220,785	
差引		▲ 888	▲ 372	▲ 2,814	▲ 4,074	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由)					
法令・マニュアルを遵守し安全安心な施設運営に努め、一人ひとりへの対応が画一的にならないよう心がけるとともに、瀬波すみれ荘の廃止に伴い、R3.12月から定員を増加させた。また、節電等の経費節減に積極的に努めた。コロナ禍でボランティアや中学生の職場体験などの受入れは中止となったが、施設周りの除草などのボランティアを行っていただき、地域と協働した運営に努めた。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	5	10.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	3	2.4	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由)					
通年開所し、急な時間延長や朝早くや夕方の希望時間の利用等への要望にも対応した。また、食事・機能訓練等の充実に取り組み、食事においては、一人ひとりに合わせた形態のバランスの取れた食事の提供に努め、機能訓練においても中重度者ケア体制強化加算を算定し、看護職員を増員して利用者それぞれに必要なプログラムを考えて実施している。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか					
(評価理由)					
瀬波すみれ荘の廃止に伴い、R3.12月から定員3名増やし、平日33名、日曜日のみ20名として運営している。コロナ禍の影響や入院、冬季間のショートステイ利用などもあり、利用者は前年度に比べ増加したものの収益は減り、物品購入や節電など経費の削減を図った。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	5	4.0
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	5	4.0
	(評価理由) 法令に基づき適正な人員配置を行った。全職員が感染症対策の研修へ参加するなど職員の資質向上を図った。また、職種間での業務連携を図り、利用者のニーズに合わせた支援に努めるとともに、同一法人内の他のデイサービスセンターと職種ごとに情報交換・協議を行って改善に努めている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 夜間警備は外部委託をしており、緊急時の連絡体制は整備されている。また、施設での避難訓練を年2回実施しているほか、利用者の緊急連絡先の整備など、万が一の事態に備え、今後もマニュアルに沿った迅速な対応ができるよう努めている。				

④総合評価

評価点合計	82.8	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

法令を順守し、安心安全な施設運営と経費の節減に努めている。社会福祉協議会の持つ公共性、公益性を活かし地域の方々との連携が図られた。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

瀬波デイサービスセンターの廃止により利用者が増加している。同一法人での他デイサービスセンターとの情報交換や協議を充実させ、今後も職員の資質向上を図り、サービスの充実、利用者や家族のニーズ等の把握に努めて利用者の拡大を図っていただきたい。
--

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。